

vol.13



「釣り」 山本晋也さんの

社員の横顔

会社に入った年(12年前)、友人に誘われて釣りを始めました。最初は付き合い程度に行く感じでしたが、釣れた時の喜び、狙った獲物が釣れる楽しさを知り、今では週末や休みの日は夜中から釣りに出かける程はまってしまいました。

釣りの中でも私がやっているのは、ルアーやジグなど疑似餌を使って行う釣りです。よく会社でも「あんなじっと待つだけの事、良く出来るな」と言われますが、いえいえ、この釣りはめっちゃめっちゃ動きますし、一種のスポーツです。

浜坂にある本社は、海まで車で5分の所にあります。何よりハマチやブリ、ヒラマサなどの青物からアオリイカ、根魚など魚種が多彩で、季節によってターゲットが異なりオールシーズン釣りが出来ます。釣りをする者にとってはホントいいとこです浜坂は。浜坂での釣りの際は是非私にお尋ねください。

社長の独り言 かずやんの Wonder Land!

「縁を結ぶ」

神在月の出雲大社を参拝しました。稲佐の浜の神迎神事を見たという家人の願いがきっかけです。随分前から休みを調整し、ホテルを手配。実にスムーズに事が運びます。ところが出発前にある人に話したところ、「え?」と怪訝な表情です。そこで俄かに不安を覚え、調べ直せば、既にそれは2週間近く前に終わっています。どうも年によって日が

変わるらしく、(ちなみに一昨年は11/21、去年が11/9、今年は11/27です。)知ったところでの後の祭りであり、まさか縁結びの神社の件で家内と揉める訳にも行かず、怒りの納め先がありません。そこで神在月の参拝にごそ意味があるとして決行。結果は清々しいお参りに大満足でした。拝殿では男女の良縁祈願よりも関東からの商売の縁結び祈願が圧倒的に多いのに驚きました。そして新しい年も佳い商いのご縁を結びたいと心より祈った次第です。

愈々50代になり、憧れの白秋の時を迎えましたが、自覚も修養も足りず、相変わらず青臭い言動が改まりません。そんなしがたない三代目社長の真情を思うに任せて書いてみようと思っています。




この土地だからこそ、この言葉

私の好きな 浜坂ことば

【第14回】 「だけえー」「だらあー」 CGグループ 堀江央記

私は、23年前に住み慣れた新温泉町諸寄から同町内の浜坂へ越してきました。過日、諸寄の方言について小学生の息子に、学校の友達に「だけえー」を使ってるかと聞いたところ、「うん、よく使う。」とのこと。「だらあー」は「それは使わない。」と言っていました。「だけえー」は「～だから」、「だらあー」は「～でしよう」と説明すればご理解いただけるでしょうか。以前は仕事柄いろんなところに行き、いろんな方言を聞きましたが、方言は愛嬌と温かみがあってとてもおもしろいです。その人にも興味が湧き、すぐ親しくなれます。私も昔の方言は知りませんが、言葉が標準化されていく時代であっても、隠すことなく方言を使っていきたいと思います。



1日のスタート!

朝ごはん食べた?

6食目 総務部 副主任 山本 珠実

「グッスリ、パッチリ、モグモグ大作戦」中学1年生の娘が通っている学校の取り組みです。その中の「モグモグ」では、朝食を4品以上食べることにしています。ねらいは、集中力の継続、免疫力を高める、そして感染予防です。主食+主菜+副菜+汁物を意識して作っています。「朝からこんなに食べるの?」と声が聞こえてきそうですが、新体操をしている娘の体型管理のため、夕食を少量に抑えているので、朝食でこれぐらいの量はペロリと平らげます。そして欠かせないのが黒酢です。健康・ダイエット・美肌効果があると聞き、毎朝飲んでます。飲み始めて4ヶ月、特に変化はありませんが、これから大きく期待します。



My Best BGM ~私の登場曲~ STYグループ 田邊 華子

「セプテンバーさん」 RADWIMPS

RADは中学生の頃からずっと大好きなバンドで、当時はMDプレイヤーでよく聴いていました。中でもこの「セプテンバーさん」という曲は、自分が9月生まれということもあり、特に思い入れのある曲です。優しいメロディーで、ギターの音も心地よくて、聴いていて穏やかな気持ちになれるところが好きでした。毎年9月になると聴きたくなる曲です。



編集後記

明けましておめでとうございます。凩とした朝の空気に新しい年を迎えた清々しさを感じます。今年は酉年ですね。体いっぱい翼を広げて世界に大きく羽ばたきたいものです。そして幸せをトリ(酉)込む、そんな1年にしたいですね。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

なんダイヤ!?

What is this?

JICO 冬号 Winter 2017



2017

新年あけましておめでとうございます

この写真は、兵庫県新温泉町諸寄(もろよせ)・為世永(いよなが)神社の船絵馬です。諸寄湊は江戸時代から北前船の風待ち港として栄え、為世永神社は船主や廻船問屋など廻漕業に携わる人々の崇敬神社でもありました。この船絵馬は、諸寄村の瀬戸屋吉三郎が万延二年(1861年)正月に奉納したもので、大坂の船絵馬師「吉本善京」が描いたものです。力強い日の出と、順風満帆で出港する様子が描かれています。また水主(かこ)たちは皆前方を見ており、船の行く手に何か期待以上のものがあるような、そんなことを思わせる構図になっています。正月らしい縁起の良い図柄です。船主たちは航海の安全と商売繁昌を願ったのです。

2017年は酉年。大鷲の如く、大きく翼を広げて世界の空を羽ばたきたいものです。2018年は弊社創立60周年を迎えます。原点に立ち返りあらゆることにチャレンジし、白い帆にいっぱい風をはらみ、大海原を悠々と航海してまわりたいと社員一同決意を新たにしております。本年も昨年以上に温かいご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



